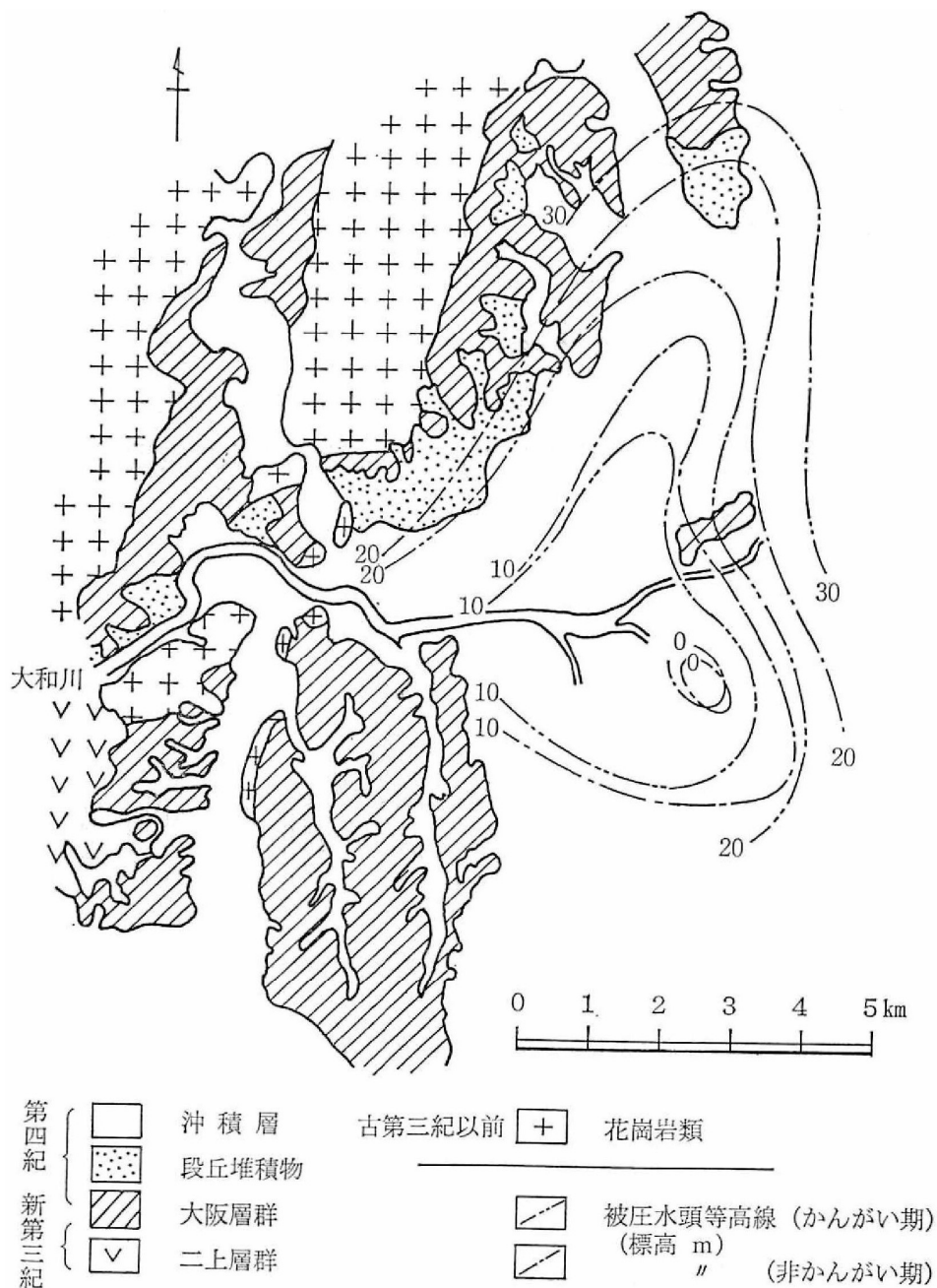


地形・地質

奈良盆地は、東を笠置山地、西を金剛生駒山脈、南を竜門山地に境され、北で京都盆地に接する盆地です。盆地内は標高 45～70m できわめて平坦です。丘陵や盆地の地下には、礫・砂・粘土・火山灰からなる大阪層群が分布します。

地下水

奈良盆地の帯水層は、大阪層群、段丘堆積物および沖積層に属する砂礫層で、段丘堆積物と沖積層に不圧地下水が、大阪層群には被圧地下水があります。



奈良盆地西部の水文地質図

出典 日本の地下水 (農業用地下水研究グループ, 1986) (一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.iagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html> (日本地下水学会)